

## 2023 上田未来会議・概要【まとめ】

### 1 事業概要

上田市では、持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土等を「学ぶ」ことで、住民が「住み続けたいと感じられる地域づくり」につなげることはもとより、地域を離れて進学した学生が「上田に帰って来たいと感じる人づくり」、さらには、「上田を離れても地域を想い続けてもらう人づくり」を目的とした「信州上田学事業」を展開しています。

その一環として、「上田未来会議」(「旧上田未来会議・未来学ゼミ」)を開催実施。

### 2 信州上田学の展望

「地域の特性(風土)と暮らしの関係」・「主体的に地域づくりに関わるための学習」を通じ、持続可能な地域づくりのため、市民一人ひとりが主役(生きいきと暮す)の社会を目指します。

### 3 主催・共催・後援

(1)主催:上田市

(2)共催:長野大学(地域づくり総合センター)

(3)後援:上田女子短期大学、信州大学繊維学部、筑波大学山岳科学センター、長野県工科短期大学校(五十音順)

### 4 事業の目的

学生や市民が一緒になって、話し合いを通じ、課題解決能力、疑問提起能力、思考力及び提言力などを培います。

### 5 役割等

(1)基調講演講師・・・大学教授等

(2)伴走者(グループアドバイザー)・・・地域の実践者

(3)「未来会議」参加者

ア 内容:未来会議に参加し、身近な上田市の課題とその解決策等をグループワークで話し合い、研究し、まとめる体験。経過・結果等を最終日に市に報告いただく。

イ 参加者等:上田市内にお住まいか、通勤又は通学される高校生・大学生・社会人

ウ 参加費等:無料、全国社会福祉協議会「ボランティア活動保険」に加入(R5から新規)

### 6 「未来会議」各回のねらい

第1回 **動機づけ**:大学教授等から主体的まちづくりについて学ぶ

第2回 **個人研究**:地域の問題、身近な問題を考える

第3回 **当事者意識醸成**:地域活動に取り組む皆さんの「想い」を聴き参考にする

第4回 **グループワーク**(1):身近な「問題点」の洗い出し:当事者意識をもって話し合う

第5回 **グループワーク**(2):「問題点」の整理から「課題」へ落とし込み

第6回 **グループワーク**(3):「自分たちでできること」を中心に課題解決案組立

第7回 **グループワーク**(4):グループ発表、意見交換、修了証、振り返り

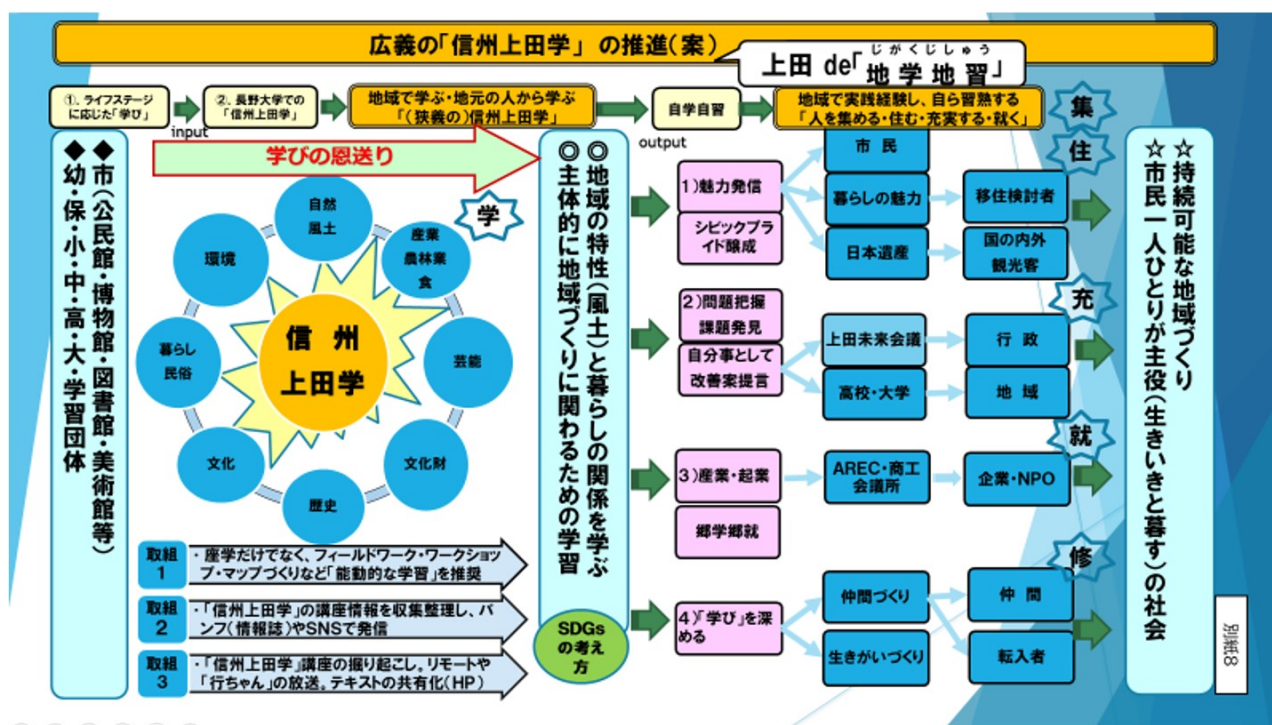
※その他 途中、自主的話し合い、オンライン会議等はグループごとに適宜実施

### 7 会場:サントミュージゼ多目的ルーム、上田駅前ビルパレオ、中央公民館ほか

【2023 信州上田学概念図】

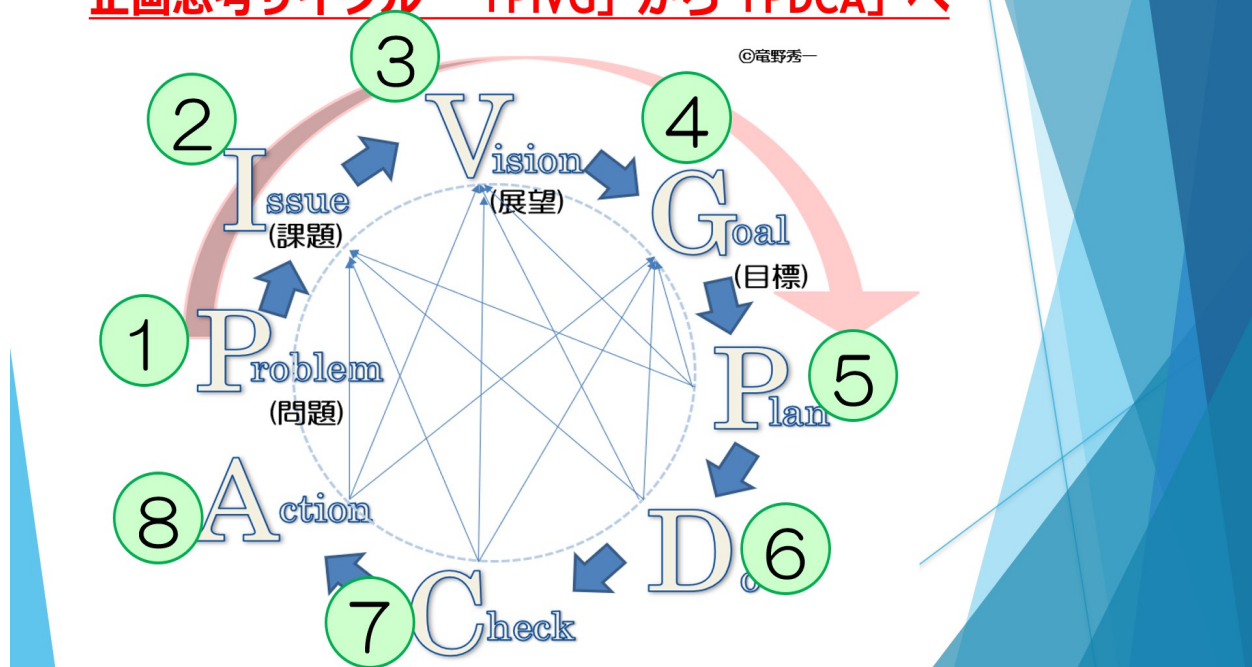
(1)「信州上田学」は「地学地習(じがくじしゅう)」

**信州上田学**：地域の課題を地域の人から学び、地域でいかす方法を考え、地域で実践学習する



(2) 企画思考プロセス

**企画思考サイクル 「PIVG」 から「PDCA」へ**





【2023 上田未来会議・募集チラシ】

(2023.4.27 現在)

2023



主催：上田市

# 上田未来会議

## ここでしか得られない様々な人との 出会い、役割、活躍の場があります。

上田市では、持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土等を「学ぶ」ことで、住民が「住み続けたいと感じられる地域づくり」につなげることはもとより、地域を離れて進学した学生が「上田に帰って来たいと感じる人づくり」、さらには、「上田を離れても地域を想い続けてもらう人づくり」を目的とした「信州上田学事業」を展開しています。

### 1 内容・目的

- ・地元の皆さんや大学の先生から、「主体的に地域づくりに関わること」の大切さをお聞きします。
- ・学生(高校生・大学生)と社会人がともに、地域の課題や解決策を考え、発表していただきます。
- ・「信州上田学」の一環として、学生(高校生・大学生)と市民が、一緒に「学び」、話し合いを通じ、課題解決能力、疑問提起能力、思考力など「探究する力」を培う場とします。

### 2 期間 2023年6月～12月のうち7回 (具体的プログラムは裏面をご覧ください)

6/24、7/15、8/19、9/16、10/7、11/11、12/9 (全て土曜日・午後)

### 3 参加：要事前申込・参加費無料

・市内にお住まい・通勤・通学されている方で、第1回、最終回を含む4回以上出席できる方ならどなたでも**40名程度**

### 4 問い合わせ・申込先:右の「申込フォーム」から、またはメール、電話でお申し込みください。

申込は、5月19日(金)から6月16日(金)まで (定員になり次第締切とさせていただきます)

上田市役所 政策企画部 学園都市推進室

TEL/0268-75-2502 mail/gakuen@city.ueda.nagano.jp

申込フォーム



### = 第1回未来会議 =

日時: 6月24日(土) 13:30~16:00

場所: サントミュージゼ(多目的ルーム)

第1部: 基調講演(問題提起) ・ 第2部: ガイダンス

(1) 演題: 「地域の問題を自分ごとで考えるとは」

(2) 講師: studio-l 代表・関西学院大学建築学部教授 **山崎亮氏**

内容: コミュニティデザインなど事例をもとに、若者が地域の方と一緒に地域課題に取り組むことの意義を学びます

※ 第1部は一般公開で開催! (この講演だけの参加募集は20名)



山崎亮(やまざき りょう)氏: studio-L 代表。関西学院大学建築学部教授。コミュニティデザイナー。社会福祉士。1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP 新書)』、『ケアするまちのデザイン(医学書院)』、『地域ごほん日記 おかわり(建築ジャーナル)』などがある。

YouTube チャンネルはこちら。 <https://youtube.com/c/山崎亮>

共催: 長野大学

後援: 上田女子短期大学、信州大学繊維学部、筑波大学山岳科学センター、長野県工科短期大学校 (五十音順)

地域で学ぶ  
地元の人から学ぶ



地域で実践経験し  
自ら習熟する



「信州上田学」は  
「地学地習」

# 上田市は国の「SDGs 未来都市」選定市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ウエダ  
ミライ  
カイギ

## 上田未来会議プログラム



◆未来会議の進め方:SDGsの視点で考えてください。  
 (原則)まとめていく過程が大切です。参加者に主体的に進めていただきます。  
 (助言)グループ活動ではグループアドバイザーから助言を頂きます。  
 (発表)グループごとに、課題設定までの経過、解決策(案)などについて発表していただきます。

<input type="checkbox"/>	第1回 (6/24(土)) 13:30~ 会場:サトミューゼ	第1部:基調講演 (1)演題:「地域の問題を自分ごとで考えるとは」 (2)講師:studio-l代表・関西学院大学建築学部教授 <b>山崎 亮氏</b> 第2部:ガイダンス (日程等は 表面をご覧ください)	 山崎 亮氏
<input type="checkbox"/>	第2回(7/15 (土))13:30~ 会場:サトミューゼ	「地域の問題、身近な問題を、自分ごとで考えてみよう」 ~「まちづくりワークシート」を使って~	 中澤純一さん
<input type="checkbox"/>	第3回(8/19 (土))13:30~ 会場:中央公民館	ゲストトーク:地域活動に取り組む皆さんの「想い」をお聴きします。 テーマ「私が活動をはじめた理由(わけ)、上田の良い点 ほか」 (a)中澤純一さん、(b)吉澤茉帆さん、(c)池松勇樹さん、(d)藤川まゆみさん	 吉澤茉帆さん
<input type="checkbox"/>	第4回(9/16 (土))13:30~ 会場:駅前ビルパレオ	ゲストトーク & グループアドバイザー(伴走者)講師 (a)中澤純一さん:NPO法人やじろべー理事長、宅老所もくれん(高齢者施設)運営。高齢者問題を中心に福祉全般の視点から幅広く地域課題に取り組んでいる。 (b)吉澤茉帆さん:選択的夫婦別姓 陳情アクション信州、1135(いい産後)信州 代表 ジェンダー・人権問題に取り組んでいる。 (c)池松勇樹さん:上田ブランド研究所所長。信州上田サマーウォーズ実行委員会や美味だれで委員会の創設等に取り組み、現在は“柳町”の観光振興を中心に活動。 (d)藤川まゆみさん:NPO 法人上田市民エネルギー理事長 持続可能でゼロカーボンなまちづくり「市民発電所相乗りくん」「上田リバス会議」に取り組んでいる。 (e)竹内 充さん:地域づくりネットワーク長野県協議会会長。大学生時代から地域づくりに取り組んでいる。	 池松勇樹さん
<input type="checkbox"/>	第5回(10/7 (土)) 会場:駅前ビルパレオ	グループワーク (経験豊富なグループアドバイザー(伴走者)によるサポート) (a)中澤純一さん、(b)吉澤茉帆さん、(c)池松勇樹さん、(e)竹内充さん <身近な「問題点」の洗い出し:当事者意識をもって話し合い>	 藤川まゆみさん
<input type="checkbox"/>	第6回(11/11 (土))13:30~ 会場:駅前ビルパレオ	<「自分たちでできること」を中心に課題解決案組立> ※第3回~第6回は、グループごとに活動しますので、日程や会場が変更になる可能性があります。	 竹内 充さん
<input type="checkbox"/>	第7回(12/9 (土))13:30~ 会場:サトミューゼ	第1部 グループ発表&意見交換 テーマ例1)「住み続けたいと感じられるまち“上田”」 テーマ例2)「帰ってきたいと感じるまち“上田”」 テーマ例3)「想い続けてもらうまち“上田”」 第2部 理事者・担当者からコメント 第3部 振り返り・修了証授与	

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、開催方法及び会場の変更、または、中止となる場合がございます。その際はお申し込みいただいた方全員に連絡させていただきます。



## 2023 上田未来会議・第1回【まとめ】

日時:6月24日(土)13:30～

場所:サントミュージゼ(多目的ルーム)

参加者:47人

### 1 内容

#### (1)開講

##### 第1部:基調講演

(1)演題:「地域の問題を自分ごとで考えると」

(2)講師:STUDIO-L 代表・関西学院大学  
建築学部教授 山崎 亮氏

(3)内容:コミュニティデザインなど事例をもとに、以下のとおり、若者や地域の方が一緒に地域課題に取り組むことの意義を学んだ。

山崎亮(やまざき りょう)氏

studio-L 代表。関西学院大学建築学部教授。コミュニティデザイナー。社会福祉士。

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP新書)』、『ケアするまちのデザイン(医学書院)』、『地域ごはん日記おかわり(建築ジャーナル)』などがある。

YouTubeチャンネルはこちら

<https://youtube.com/c/山崎亮>

#### <講演の主な内容>

- 公共施設(病院、美術館、JRの駅、公園等)、商店街、離島地域について、地域の方々と一緒に話し合って、地域の方々自身が動き出すというようなことをやっている。
- 役所の総合計画、食育計画環境基本計画、福祉計画、あるいは教育大綱を地域の方々と一緒につくることか、活動を生み出すことか、自主事業もしている。
- 例えば、「皆さんがこういうものを欲しい」という意見を聞いているように見えて、実は、どういうものが欲しいかっていうのは聞いてない。

そうではなくて「皆さんは公園で何がしたいですか」という話しをする。

- これがやりたい、あれがやりたい、だったらこんな空間が必要ですねっていうような、そんな話し合い。あれが欲しいこれが欲しい、つまり要望陳情を受け付けるようなワークショップではなく、「公園が完成したらこれやる」と言い切って宣言してください、ということをしている。

※上記の内容を、以下の具体的事例を示しながらお話しいただいた。

- ・滋賀県(草津川という川の跡地の公園づくり)
- ・信濃毎日新聞社の本社
- ・島根県隠岐郡海士町(あまちょう)
- ・北海道中頓別町(なかとんべつちょう)
- ・奈良県御所市(ごせし)
- ・「風の村」(千葉県八街市(やちまたし))
- ・秋田市



第2部:ガイダンス:今後の進め方、「信州上田学」について

【主催者あいさつ】



## 2023 上田未来会議・第2回【まとめ】

日 時:7月15日(土)13:30～  
場 所:サントミュージゼ(多目的ルーム)  
参加者:16人

### 1 内容

13:00～14:00 グループワークの進め方・「話し合いのルール」説明  
14:00～14:50 グループワークで話し合いたいこと(「ワークシートの使い方」)  
①人権・福祉、②産業・観光、③教育・子ども、④居場所づくり他  
14:50～15:00 休憩  
15:00～16:00 「問題」⇒「課題」⇒「展望」⇒「目標」を  
貼り出しながら発表し合い(共有化)

### 2 「話し合いのルール」

- (1) 楽しく夢を語りましょう
- (2) 相手の意見を尊重し便乗大歓迎
- (3) 時間厳守
- (4) 言いつばなしにしない。良いことはみんなで実現
- (5) 情報共有:出席できなかった人にも文書で知らし  
確認し合しましょう
- (6) みんなで決めたことは守りましょう
- (7) その他

### 3 「未来会議ワークシート」の使い方

- (1) 問題(現状・背景):自分自身が、または、周りの高齢者、障がいのある方、子どもたち、転居者などの困っている様子を見て、問題だと思ふことを書き出す。
- (2) 課題:上記1の「問題」の中で1点を選んで、他の人にも共感してもらええる言い方にしてみる。
- (3) 展望:2のことが解決されると、社会や身の回りがどのように変わるでしょうか、書いてみる。
- (4) 目標:3の展望に向けて、まず、何からやったらいいか書いてみる。

2023 未来会議：ワークシート		お名前：〆
中 ※ご自分が考えていることを振り返ってみてください。ご記入できる範囲で結構です。		
1 問題(現状・背景) ※自分自身が、または、周りの高齢者、障がいのある方、子どもたち、転居者などの困っている様子を見て、問題だと思ふことを書き出してみましょう。	〆	
2 課題 ※上記1の「問題」の中で1点を選んで、他の人にも共感してもらええる言い方にしてみましょう。	〆	
3 展望 ※2のことが解決されると、社会や身の回りがどのように変わるでしょうか、書いてみましょう。	〆	
4 目標 ※3の展望に向けて、まず、何からやったらいいか書いてみましょう。	〆	
※ 第3回以降の「グループワーク」で話し合いたい分野をご記入ください。	① 福祉・人権 ② 振興・観光 ③ 教育・子ども、 ④ 居場所 ⑤ その他( )	





## 2023 上田未来会議・第3回【まとめ】

日 時:8月19日(土)13:30～

場 所:中央公民館大会議室

参加者:18人

### 1 内 容

13:30～ 前回の振り返り・本日の進め方

13:40～ ゲストトーク

13:40～15:10 ゲストトーク

内容:①活動を始めたきっかけ、  
②使命と思っていること、  
③活動をして伝えたいこと など

15:10～15:20 休憩

15:10～15:50(以下は、時間を見ながらできるところまで)

グループワーク目標:テーマの絞り込み:2～3個に絞ります

15:50～16:00 本日の進捗状況・共有化

15:10～ 休憩

15:20～ グループワーク

15:50～ 本日の進捗状況・共有化・事務連絡

### 2 ゲスト・伴走者

- ① 第1グループ伴走:中澤純一さん:NPO法人やじろべー理事長、宅老所もくれん(高齢者施設)運営。高齢者問題を中心に福祉全般の視点から幅広く地域課題に取り組んでいる。
- ② 第2グループ伴走:池松勇樹さん:上田ブランド研究所所長。信州上田サマーウォーズ実行委員会や美味だれで委員会の創設等に取り組み、現在は“柳町”の観光振興を中心に活動。
- ③ 第3グループ伴走:吉澤菜帆さん:選択的夫婦別姓 陳情アクション信州、1135(いい産後)信州代表ジェンダー・人権問題に取り組んでいる。
- ④ 第4グループ伴走:竹内充さん:地域づくりネットワーク長野県協議会会長。大学生時代から地域づくりに取り組んでいる。
- ⑤ ゲストスピーカー:藤川まゆみさん:NPO 法人上田市民エネルギー理事長持続可能でゼロカーボンなまちづくり「市民発電所相乗りくん」「上田リバース会議」に取り組んでいる。



## 2023 上田未来会議・第4回【まとめ】

日 時:9月16日(土)13:30～  
場 所:上田駅前パレオ・2階会議室  
参加者:15人

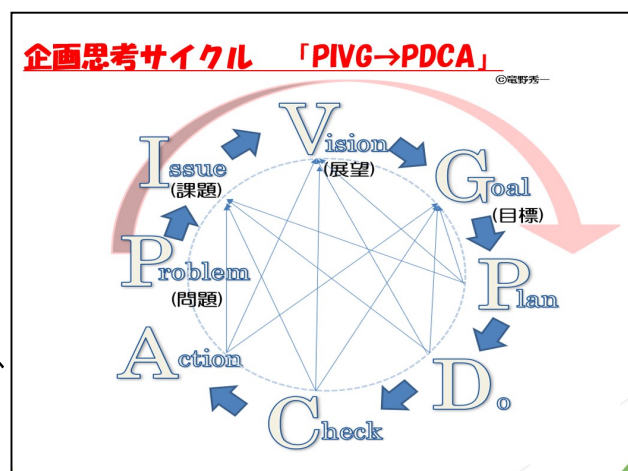
### 1 内 容

- 13:30～13:50 ガイダンス  
(今日の進め方・前回の振り返り・確認 3)
- 13:50～14:00 ミッション1個人:ワークシート発表準備
- 14:00～15:30 ミッション2～5  
グループで取組むテーマを2～3に絞ります  
(途中休憩)
- 15:30～15:55 ミッション6 :全体会:発表
- 15:55～16:00 事務連絡・情報共有

### 2 今後の進め方など

- ①話しを聞く時は、敬意を払い、「確かに、確かに」「ある、ある」「わかる、わかる」と相槌を入れながら聴くようにしましょう。
- ②グループの課題を決めるとき  
ポイント1)上田地域の課題(でもある)か?  
2)自分たちで取組める内容か?  
3)建設的か?  
4)単なる批判ではないか?  
5)11月までに、まとめられそうか?例えば、時間がかかりそうな課題なら2つにする など
- ③今後の進め方  
1)これからは、各グループが同じペースで進めていく必要はない。  
2)12月9日に発表できるように話し合い、準備をしていく。  
3)別に集まったり、取材に行ったり、日程や場所もグループごとに自由  
4)ボランティア保険の関係があるので、事前に、事務局に連絡  
5)「誰かに何かを要望することを考えるのではなく、自分の「問題」をグループの中で共有し、「地域課題」に落とし込み、自分たちでできることを中心に解決策を考えていただきます。その際、自分たちでできることと、地域や行政などしてもらおうことを整理」  
6)企画思考サイクル

課題解決で、いきなりPDCAサイクル{(計画) Plan→(実行) Do→(評価) Check→(改善) Action)}では、気が付くとP「計画」が“手段”ではなく、“目的”になっていることがあります。そのため、PDCAサイクルの前に、PIVG{(問題) Problem→(課題) Issue→(展望) Vision→(目標) Goal}が大切。特に、“(問題) 把握”と“(課題)設定”が大切です、話し合いもここに時間を掛けます。じっくり取り組み、共有をしておくことは、家づくりで言えば、“設計”であり“基礎”工事”です。






## 2023 上田未来会議・第5回【まとめ】

日 時:10月7日(土)13:30~  
 場 所:上田駅前パレオ・2階会議室  
 参加者:14人

### 1 内 容

- 13:30~ガイダンス  
前回の確認・ミッション1~6
- 13:50~グループワーク
  - ① 取組むテーマを1~3に決める。
  - ② 解決策等を話し合いまとめる。
  - ③ 今後の進め方のスケジュールを立てる。
- 15:30~全体会:発表
- 15:55~事務連絡・情報共有

### 2 まとめ方(例)

 2023 上田未来会議の模造紙まとめ方例		チーム名:	メンバー:◦							
タイトル:「 _____ 」◦										
① 問題◦	➡	② 課題(理由)◦	➡	③ 展望◦	➡	④ 目標◦	➡	⑤ セールスポイント◦	➡	⑥ 提案:できるだけ具体的に◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
◦		◦		◦		◦		◦		◦
全体をとおして気が付いたこと等◦										



## 2023 上田未来会議・第6回【まとめ】

日 時:11月7日(土)13:30～

場 所:上田駅前パレオ・2階会議室

参加者:13人

### 1 内 容

13:30～13:50 ガイダンス・まとめ方(例)

13:50～15:30 グループワーク(途中休憩)

15:30～15:55 全体会:発表

本番リハ:各グループ5分で発表

15:55～16:00 事務連絡・情報共有

### 2 まとめ方(例)

(1)目的: ①そのグループに参加できなかった人にもわかるように発表しましょう。

②発表することで考えを整理し、次の一歩につなげましょう。

(2)内容: ①グループとして、取組みのプロセス説明

②グループとして(ワークシート基づき、課題と解決策、気づき、その他

③個人として、発見、今後してみたいと思ったこと など

(3)方法: 模造紙、パワーポイント、書画カメラなど自由

1 ループ: プレゼン(17分)+企画アドバイザーコメント(3分)

事務局で用意出来る物: パソコン、プロジェクター、書画カメラ※

(4)時間: 全体 90分: 20分×4+10(予備)

### 3 リハーサル: 12月9日の発表の流れ

(1)発表いただくグループの皆さんは、お呼びしたら、前へ。

(2)そのとき同時に、次に発表されるグループの方で、パソコン担当の方は、発表グループとは別のパソコンにセッティング

(3)各グループの発表は、①取組みのプロセス説明、②課題と解決策など、そして各個の発見などのプレゼン、各グループのアドバイザー(伴走者)からコメント

(4)なお、「タイムキーパー」は発表の終わったグループの代表の方

最初の第1グループの発表のときは、最後に発表される第4グループの代表者

これにより、例えば、最初第1グループの発表のとき、第2グループは準備、第4グループの代表の方は「タイムキーパー」を務めていただく。

(5)「タイムキーパー」の方は、プレゼン終了「5分前」、「1分前」、「30秒前」の紙を掲げる。





## 2023 上田未来会議・第7回【まとめ】

日時:12月9日(土)13:30～

場所:サントミュージゼ(多目的ルーム)

参加者:27人

### 1 内容

#### <第1部>

1 はじめに(今日の進め方)

2 受講生発表方法等

(1)目的: ①そのグループに参加できなかった人にも伝える。

②個人的発見を話すことで自己の考えを整理し次の一歩につなげる。

(2)内容: ①グループとして、取組みのプロセス説明

②グループとして、以下のワークシートで、課題と解決策、気づき他

③個人として、発見、今後してみたいと思ったこと など

(3)方法: 模造紙、パワーポイント、書画カメラなど

1グループ: プレゼン(17分)・企画アドバイザーコメント(3分)

(4)時間: 全体 90分: 20分×4+10(予備)

(5)グループ【分野】テーマタイトル

第1【福祉・人権】「誰もが自分の人生を生きるために～ケアの助けになるためには～」

第2【振興・観光】「上田の魅力作りと魅力発信」

第3【教育・子ども】「ICT を使用した地域と学生をつなぐ仕組みづくり」

第4【居場所・環境】「#伝える見つける～あなたの居場所、学生に教えてください～」

3 主催者(市長)あいさつ

4 修了証授与

5 記念撮影

#### <第2部>

1 グループワーク: 感想・反省・次年度への取組み

2 全体会: グループごとの発表

